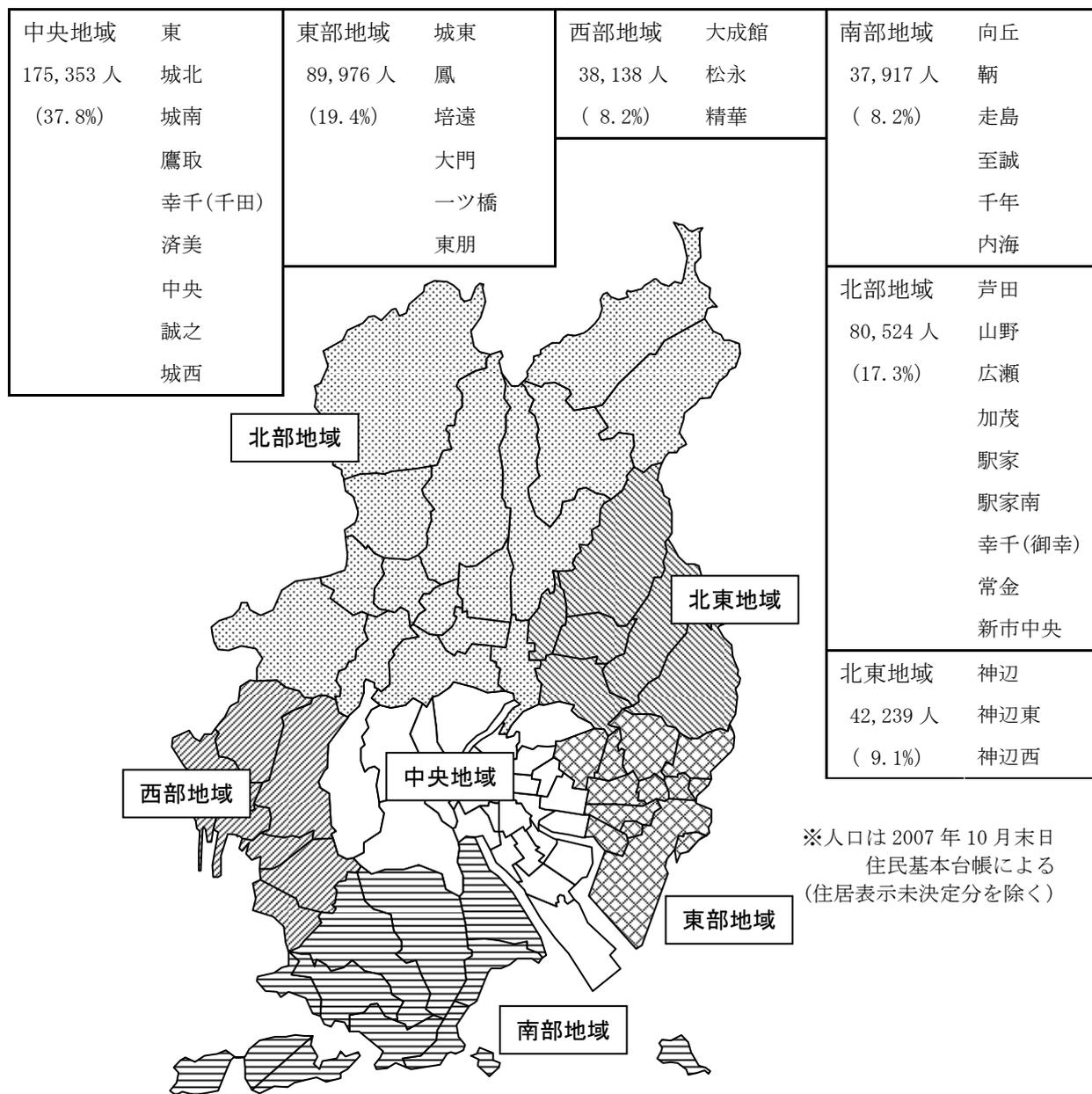


第5章 地域別まちづくりの方針

1. 地域区分

福山市は合併を重ねることで市域を拡大してきており、地理的条件や日常生活圏などから成る地域ごとに市街地が形成されています。したがって、それぞれの地域ごとに特性を生かしながら連携することにより、市域の一体的な発展をめざした都市づくりを進めます。

地域区分については、総合計画との整合を図り、「中央地域」、「東部地域」、「西部地域」、「南部地域」、「北部地域」、「北東地域」の6つの地域に分けることとし、本マスタープランでは、原則として中学校区を単位とした地区のまとまりとします。



2. 地域別人口の状況

(1) 人口推移

1995年（平成7年）から2005年（平成17年）までの5年ごとの国勢調査の人口集計を見ると、市全体では微増となっています。地域ごとの推移を見ると、中央地域が高い伸びを示しており、東部地域及び北東地域も微増が続いて

います。一方、西部地域、南部地域及び北部地域は減少傾向が続いており、特に南部地域では前半に、西部地域では後半に高い減少率を示しています。

<人口推移と人口増加率>

	人口推移（人）			年平均増加率（%）	
	1995年	2000年	2005年	1995～2000年	2000～2005年
中央地域	166,183	171,292	174,769	0.61	0.41
東部地域	86,761	87,489	88,171	0.17	0.16
西部地域	41,251	40,781	39,369	-0.23	-0.69
南部地域	40,725	38,579	37,843	-1.05	-0.38
北部地域	78,894	78,406	78,357	-0.12	-0.01
北東地域	39,977	40,361	40,578	0.19	0.11
市域合計	453,791	456,908	459,087	0.14	0.10

(2) 地域別年齢構成

福山市全体では、65歳以上の高齢人口の割合が20%を超え、超高齢社会を迎えようとしています。地域ごとに見ると、東部地域の高齢人口の割合が市全体と比べて低く、逆に生産年

齢人口の割合が比較的高くなっています。一方、南部地域は高齢人口の割合が非常に高く、西部地域、北部地域及び北東地域も比較的高くなっています。

<年齢構成比>

	年齢別人口（人）				構成比（%）		
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	合計	0～14歳	15～64歳	65歳以上
中央地域	26,622	113,532	35,199	175,353	15.2%	64.7%	20.1%
東部地域	14,445	61,388	14,143	89,976	16.1%	68.2%	15.7%
西部地域	4,915	24,027	9,196	38,138	12.9%	63.0%	24.1%
南部地域	4,452	22,483	10,982	37,917	11.7%	59.3%	29.0%
北部地域	11,296	50,576	18,652	80,524	14.0%	62.8%	23.2%
北東地域	6,130	26,737	9,372	42,239	14.5%	63.3%	22.2%
市域合計	67,860	298,743	97,544	464,147	14.6%	64.4%	21.0%

住民基本台帳 2007年（平成19年）10月末日現在
（住居表示未決定分を除く）

3. 地域別まちづくりの目標

本市の都市づくりの基本理念を達成するため、市域6つの地域がそれぞれの特性を生かしつつ、役割を分担し、全体として調和のとれた発展を遂げるよう、各地域のまちづくりのテーマを次のとおり設定します。

